

桜美林大学日本言語文化学院(留学生別科)シラバス詳細情報

開講開始年度	2019 年度春学期		
授業コード	( )※日本語文化学院事務室で入力		
開講曜日時間			
科目名	チュートリアル1		
担当教員			
授業概要	<p>1. 希望の進学における自分の今の状況と問題点を知り、自分にとってどのような学習や準備が必要かを考え、学習目標、および進学計画を立てられるようになる。</p> <p>2. 自分の学習スタイルを知り、自分に合った学習方法を考えることができるようになる。</p> <p>3. 自分で学習を管理(かんり)できるようになる。</p> <p>4. 弱点やさらに伸ばしたい点を集中的に学習して、日本語力を強化する。</p>		
定期試験日程	中間テスト		期末テスト
授業計画	<p>1. 学期のはじめに、学生と教師が個々の学生の目標と学習方法について話し合います。学習を進めるうちに、目標を修正または変更する必要が出てきたら、教師に知らせてください。新しい目標とそれを達成する方法について話し合います。</p> <p>2. 学期中、必要に応じて「個別セッション」を行います。</p> <p>3. 学期の終わりに学生は一学期間の学習を振り返り、評価について教師と話し合います。</p> <p><b>【スケジュール】</b></p> <p>第1回 4/15 進学までの計画を考える</p> <p>第2回 4/22 学習計画を考える①進学先分析</p> <p>第3回 5/6 学習計画を考える②弱点分析</p> <p>第4回 5/13 参考文献の調べ方:図書館での文献検索</p> <p>第5回 5/20 研究計画を考える(研究テーマ、研究方法)①</p> <p>第6回 5/27 研究計画を考える(研究テーマ、研究方法)②</p> <p>第7回 6/3 研究計画を考える(研究テーマ、研究方法)③</p> <p>第8回 6/10 口述試験対策・中間報告</p> <p>第9回 6/17 先行研究調べと研究計画作成①</p> <p>第10回 6/24 先行研究調べと研究計画作成②</p> <p>第11回 7/1 先行研究調べと研究計画作成③</p>		

	<p>第 12 回 7/8 先行研究調べと研究計画作成④</p> <p>第 13 回 7/15 先行研究調べと研究計画作成⑤</p> <p>第 14 回 7/22 先行研究調べと研究計画作成⑥</p> <p>第 15 回 7/29 自己評価をする。学習成果のまとめをする。</p>
テキスト	・特になし。適宜プリント配布。
参考書	<p>・北原保雄監修(2009)『実践研究計画書作成法 情報収集からプレゼンテーションまで』凡人社</p> <p>・佐渡島紗織・吉野亜矢子(2008)『これから研究を書く人のためのガイドブック』ひつじ書房</p>
評価基準	<p>具体的には、以下の割合で評価します。</p> <p>(1) 授業参加度:30%</p> <p>(2) 教師による評価:50%(課題提出、説明会レポート等)</p> <p>(3) 学生の自己評価:20%(学習記録、学習の振り返り)</p> <p>以上を総合して A、B、C、D、F の成績をつけます。それぞれの成績の説明以下の通りです。</p> <p>A: この科目の目標を十二分に達成し、授業への参加態度も非常に優れている。</p> <p>B: この科目の目標を達成し、授業への参加態度も優れている。</p> <p>C: この科目で主要な目標は達成し、授業への参加態度もおおむね積極的である。しかし、この科目の全体的な目標の達成には、さらなる取り組みが求められる。</p> <p>D: この科目の目標の達成は不十分で、参加の程度も不十分だが、合格最低の基準に到達している。今後、多くの努力が必要である。</p> <p>F: 不合格。この科目の目標が達成されていない。</p> <p>* 欠席時間数が授業時間数の 3 分の 1 を超えた者は原則として成績は F とする。</p>
教員との連絡方法	基本的にメール等でアポイントを取る。
URL	
備考	
最終更新日	